

## 1 統合に向けた考え方

- 1 学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模として、1学年あたり4から6学級に設定し、3学級以下の高等学校は、学校の魅力化を進めながら統合を推進
- 2 同一市町内や隣接する市町内に学校規模を維持できない学校がある場合は、統合を推進
- 3 過疎・中山間地域の教育機会を確保するため、1学年1学級規模でも本校とする措置を例外的に実施

## 2 南会津・田島両高等学校の現状と統合イメージ

### ○南会津高等学校

年度	H30	R元	R2
募集定員	70人		
入学者数	50人	35人	41人
充足率	71.4%	50%	58.6%

### ○田島高等学校

年度	H30	R元	R2
募集定員	80人		
入学者数	49人	43人	43人
充足率	61.3%	53.8%	53.8%

### ○新規統合校

募集定員	120人(30減)
学級数	3学級(例外的に許可)
学科	普通科から総合学科へ移行
校舎	田島高等学校の校舎を利用

デメリットは  
解消される?

### 入学者が少ない小規模校のデメリット

- 1 生徒同士が切磋琢磨しながら社会性や向上心を育むことが難しい
- 2 学級数減に伴う教職員数の減少で、選択科目や部活動など教育活動が制限される

## 3 統合初年度の対応

新規統合校(2023年度開校)における学年ごとのカリキュラム

3年生(2021年 南会津高等学校に入学)	現在の中学3年生	3年生(2021年 田島高等学校に入学)
2年生(2022年 南会津高等学校に入学)	現在の中学2年生	2年生(2022年 田島高等学校に入学)

※統合前に入学した生徒は、統合前の両校が設定していたカリキュラムに基づいて卒業まで学習

統合初年度(2023年度)に入学した新1年生は、新規統合校のカリキュラムに基づいて学習

## 4 総合学科(4系列)の設置とインクルーシブ教育の導入

### 1 文理探究

4年制大学や短期大学への進学希望者を対象とした系列  
丁寧な進路・学習指導に基づき、多様な入試形態に対応できる力を養成

### 2 アグリ環境探究

農業や環境に関する知識や技術の習得希望者を対象とした系列  
GAP認証取得やビジネス形態の探究など、即戦力となる人材を育成

### 3 ビジネス情報探究

経済・商業に関する知識や情報技術の習得希望者を対象とした系列  
商業・情報に関する資格取得、地元企業と連携した経済振興に取り組む

### 4 教養探究

就職希望者や看護・医療専門学校への進学希望者を対象とした系列  
公務員試験への対応、医療・福祉関係機関と連携した実習に取り組む

### ●インクルーシブ教育とは

障がいのある生徒と障がいのない生徒が共生できる教育環境を創出すること

南会津町に新設される  
特別支援学校との連携

障害のある生徒が自信や生きがいを持ち、社会参画できるよう促す取り組みを強化

皆さんは、統合案をどう受け止めますか？ 一緒になって考えましょう！

子どもたちの将来は—  
学校選択は待ったなし

7月4日、福島県教育委員会主催による県立高等学校の統合に関する住民説明会が南郷総合センターで開催されました。  
地域住民の思い、県としての思い。子どもたちを思う気持ち、より良い学校教育を願う気持ち。さまざまな要素が交差します。  
現時点で示されている改革案、それに対する論点などを紹介します。

田島高校  
5説明会

委員会

地域住民の問いかけに—  
県教育委員会は何を思う...